



西川絢子（環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室室長）

○プロフィール

京都大学大学院理学研究科(生態学)及びコロンビア大学国際公共政策大学院(国際関係学)修了。2002年環境省入省。20年以上に及ぶ環境省在籍中、廃棄物や国際協力を中心とした環境政策の企画・立案に幅広く従事し、アジア太平洋地域を中心に環境インフラの海外展開を推進。世界銀行ケニア事務所や国連大学サステナビリティ高等研究所での勤務経験のほか、ミャンマーでJICA環境管理政策アドバイザーを務めるなど、国際開発プロジェクトの運営管理に長く従事。国内では、災害廃棄物対策や福島復興に携わり、直近では能登半島地震の災害派遣でがれき処理や倒壊家屋の解体を支援。2025年より現職で湖沼や沿岸域の環境管理と里海づくりを担当。卒論ではガガンボ幼虫の個体群動態、修論では水域生態系の物質循環をテーマに琵琶湖や知床、モンゴル等でフィールド調査。1男1女の母。

○事前に学習しておいて欲しい本、動画など

今後の里海づくりのあり方に関する提言

[「今後の里海づくりのあり方に関する提言」の公表について | 報道発表資料 | 環境省](#)

○最近のお仕事、興味関心

- ・気候変動や海の環境変化で魚や貝が獲れなくなって日本の食卓の危機。何が出来るのか
- ・地域の豊かな自然を守り育てながら地域経済を回す仕組みづくり
- ・豊かな海をなにで測るのか